

志教育の 視点	☒ かかわる ・ ☒ もとめる ・ ☐ はたす
活動名	社会貢献プログラム
教科・領域等	総合的な探究の時間
活動学年等	2年（英語科・普通科）
ねらい	・新しい時代に必要となる資質や能力の育成を目指し、探究活動を通して具体的な自己実現のための力を育てる。（課題発見解決力・表現力・情報収集力・コミュニケーション力） ・社会貢献という観点を活かして、諸外国や地元地域等将来自分が居住する社会に貢献できる能力と態度を育てる。（批判的思考力・論理的思考力・表現力・情報処理力・社会貢献力）

【実践内容】

『志教育の視点』：地域社会に貢献できる人材になるために、地域の諸課題の解決に主体的に取り組み、改善しようとする姿勢を身に付ける。

『活動内容』

(1) 概要

仙台や宮城県といった地元の地域社会において、身の回りのことから地域が抱える問題を見だし、将来どのような貢献をしていけるか等の解決策を探究する活動。これまで教科・科目等で学習してきた知識・技能を活用しながら、自分が暮らす（地元）地域社会では、現在、どのような問題を抱えているのか、または将来どのような問題が発生する可能性があるのか等、地域の問題を発見し、そうした問題を解決するためには、どのようなことを行っていけば地域貢献に繋がるのかを、仮説設定・情報収集・情報分析・まとめ・表現といった流れで探究活動を行う。

(2) 実施内容

- ① 先輩の探究活動について知る
- ② 課題発見・主題設定・仮説提起・テーマ設定の見直し
- ③ 調査活動：取材計画・マナー学習 ⇒ インタビュー取材＋関連書籍
- ④ 取材等の情報整理・分析
- ⑤ 仮説検証・修正・編集（構成）または再取材計画 ⇒ 編集（叙述・推敲）
- ⑥ グループ内での発表⇒クラス発表会
- ⑦ 学年発表会（14名：クラス代表者） 講評・助言者：宮城大学事業構想学群准教授 地域創生学類学類長 研究推進・地域未来共創センター副センター長 佐々木 秀之 氏

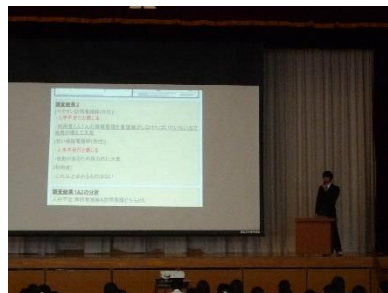
⑧ 振り返り：探究活動総括・評価

(3) 最後に

本校では、1学年での国際的な視野を意識したグループ探究活動を2学年における地域社会の諸問題について考える個人探究活動に繋げている。さらに「振り返り」として、代表生徒の探究活動報告を聞くことで、参考になる部分や自分に不足している部分等を3学年での探究活動総括で活かし、内容を一層深めていくことで志教育の「まとめ」としている。



講評・助言者 宮城大学 准教授 佐々木 秀之 氏（写真右）
宮城大学学生 清和田 実桜 氏（本校卒業生 写真中）



クラス代表者による学年発表会（於）本校体育館